

データサイエンティストという職業を少し解説します。データサイエンティストとは、広義には「データから新たな価値を創造する人」ですが、以下の3つに大別されます。

1つ目は、ビジネスデータサイエンティスト。ビジネスの様々な課題をデータと分析力で解決する人材です。2つ目は、人工知能(AI)データサイエンティスト。ディープラーニングなどの機械学習手法を駆使して、革新的な人工システムを開発する人材です。3つ目は、理論データサイエンティスト。数学的理論に基づき、効果やリスク量を検証できる人材です。

いずれも分析手法に精通する数学力、アルゴリズムを実装するプログラミング

データサイエンティストとは何か

力、課題を見つけて解決する論理的思考力が求められますが、特に精通すべき能力は異なります。

ビジネスデータサイエンティストは、課題解決に向けて、現状の意思決定プロセスに介在する暗黙知を形式知化し、データ分析力を生かせるように意思決定プロセスを再設計できる、高い論理的思考力が求められます。

また、AIデータサイエンティストは、開発したい人工システムを具体化した上で、その開発に役立つ研究論文の目利きをします。そしてアルゴリズム化できるほどまで数学的に理解し、自らプログラミングして実装する力が求められます。企業は自社に必要なタイプのデータサイエンティ

ストを採用すべきで、学生も目指すタイプを念頭に置いて学ぶ必要があります。

一方で、一般のビジネスパーソンにもデータを活用する力が求められます。なぜならば、現場力とデータは不可分だからです。例えば、マーケティング施策を考える場合、消費者行動の洞察とデータからの考察という、2つの思考が融合することで、新たな仮説が生まれます。工場の不良原因を追究する場合も、製造プロセスの因果に関する洞察とデータからの考察の、2つの思考が融合することで、原因が特定できます。

現場担当者は自ら分析できなくとも、データを理解し、分析結果を解釈するだけのデータリテラシーを持つ必要があります。